

私たちは 幼児から高齢者までの豊かな生活空間を研究 実践するために松山市在住の異業種の女性たちで作った NPO 法人です。 私たちに共感し仲間に加わってくださる方たちの輪を少しでも広げる為に 私たちの活動をご紹介します JMACS 通信を季刊で発行しています。 皆様のご意見 情報をお待ちしています。

【 地域密着型サービス外部評価事業 】

審査委員会開催 (3月18日)

評価審査委員会は、評価事業の運営適正化のために行なうものです。認知症介護に関する学識経験者、認知症高齢者の家族代表、グループホーム代表者で構成しています。毎年定期的を開催しており、評価実施後アンケートなどをもとに意見をいただきます。

今年度は5月下旬から訪問調査をスタートさせます。約70事業所の外部評価を実施予定です。新しいサービス評価が始まり3年目、今年度は県で愛媛県版サービス評価の効果検証を行なうことが予定されています。

【 福祉サービス第三者評価事業 】

福祉サービス第三者評価事業は、昨年度2事業所より評価を受注し、愛媛県のホームページや全社協のウェブサイト <http://shakyo-hyouka.net/> で、評価結果を公表しました。

今年度は保育所や高齢者分野で第三者評価の取り組みが広がることを期待し評価事業の推進に向けて活動中です。

【 介護サービス情報の公表制度 】

令和元年の介護サービス情報公表制度調査は、今年も9月より調査を開始する予定です。昨年度は108事業所の調査を行いました。事業所の理解も進み順調に調査が進みました。

調査結果は、厚生労働省のウェブサイト <http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/> でご覧いただけます。

【 遊友学舎 】

遊友学舎のキッズ☆デイサポートは児童クラブとして放課後の子供達をお預かりしています。年々需要は増加しており、近頃は希望して下さる方全員には来ていただけなくなっているような状況です。

今年も、4月1日から7人の新1年生と2年生1人が新しく来ています。今年是在籍者の兄弟姉妹が4人と多くなっています。4月1日には在籍している先輩の子供達が歓迎会をしました。歓迎会は企画から子供達が主導して行い、進行役は6年生の男子が担当、各演じ物もそれぞれの担当を高学年が勤めて実施しました。まず、塾長の挨拶、次に2年生から自己紹介、最後に新1、2年生がしました。進行役の6年生は「今までで一番しっかりした1年生だ」と感想を述べていました。



その後ゲームにうつり、次々と相手をかえてじゃんけんをして、勝った回数を競うという物でしたが、いろいろな人とあたって、知り合いになるという趣旨でした。その次には2人組を作り、ビンゴをしました。まず配られた紙に自分たちの好きな食べ物を10個書きます。次に、ビンゴ担当者が食べ物の名前を次々に言って行き、ビンゴになったら、景品がもらえます。なかなかビンゴにならないのではと思いましたが、そんなことはなく、次々と完成していました。高学年がしっかりと主導し、成長を見せてくれた歓迎会でした。